

① **研究課題名**：名古屋市立東部医療センターにおける成熟卵巣奇形腫の腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出

手術の術式(体内法、体外法)選択に関する検討

② **研究の目的**：

本研究は、名古屋市立東部医療センター（以下「当院」）で行なった腹腔鏡下卵巣腫瘍手術症例を後方視的に検討することで、成熟卵巣奇形腫に対して体内法と体外法いずれの術式を選択すべきかといった指標を得ることを目的として行います。

③ **研究期間**：西暦 2019年 5月 ～ 2019年 10月 26日

④ **研究実施施設**：名古屋市立東部医療センター 産婦人科

⑤ **研究の対象**：

2016年1月1日から2019年5月31日までの間に、当院産婦人科にて成熟卵巣奇形腫に対して腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術を施行した方の診療記録を対象とします。

⑥ **調査項目**：

- ① 腫瘍の大きさ：術前のMRIやCTなどの画像情報をもとに腫瘍の最大径を計測する
- ② 手術時間
- ③ 出血量
- ④ 術中腫瘍破綻の有無
- ⑤ 術後発熱の有無
- ⑥ 血液検査所見：白血球、CRP
- ⑦ 手術合併症
- ⑧ 実施術式

⑦ **研究の方法**：

診療録より「⑥調査項目」の情報収集し、症例調査票に記入する。収集した情報を比較し、成熟卵巣奇形腫の手術方法として、体内法と体外法のどちらを選択すべきかを検討します。

⑧ **研究成果の公開**

学会発表・論文での公表を予定しています。

⑨ **個人情報の保護**

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究に係る利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番 23号	産婦人科	犬塚 早紀 TEL : 052-721-7171 (代 表)